

令和4年度 松本やまびこ保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

～子どもが真ん中！やっほー！やまびこ保育園！ 体をつくろう！心をつくろう！～

2. 本年度の重点目標

- ① 気持ちが揃うと嬉しいね・・・そろえる心
- ② やってみよう！やってみよう！・・・がんばる心
- ③ ありがとう！心ほかほか・・・やさしい心

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	C
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・子ども主体の保育方針に賛同できる保護者が多い。ラーニングストーリーなどを通じ 子どもの主体的な活動や子どもの肯定的な見取りの共有ができるようになってきている。また、「子どもが真ん中」という保育目標が明確でわかりやすいこと、そして、日々の保育内容や行事の様子も「子どもの主体」であることが保護者に伝わってきていると感じ、安心して子どもを預けることができているのではないかと感じた。また、「えほんのおうち」ができたことで、より絵本に親しむ環境ができたことは、子どもの育つ環境に良いと評価を頂いた。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

・園の保育方針に共感してくださる、保護者、地域の方が多いと感じている。一人ひとりの子どもたちの自己肯定感を大切に、そして、「生きる力」の素地となる園生活を送ることができるようにしたい。その為には、全職員が責任をもって大切な子どもに関わることを常に意識し、人権を尊重し、子どもの命を守っていききたい。ひとりひとりの子どもが安心し、幸せに過ごす園となるよう、園としての役割を保護者、地域の皆様と確認をしていきたいと考える。子育てに悩みや不安を抱える保護者ニーズへの対応とともに、子どもだけでなく家庭に寄り添うことができる園を目指したい。また、日頃の安全管理の徹底、災害や防災等に備え、保護者・地域連携をより明確にし対策ができるよう、安全管理においても次年度の目標のひとつとしたい。